

閉会挨拶

林 春男（京都大学防災研究所 特任教授）

昨日、今日と2日間にわたり、国難と都市災害の発表会を実施させていただきました。今年で第4回です。第5回も恐らくこの時期に開催させていただいて、合同でやるものは、それが二つのプロジェクトの最終成果報告会になるとご理解いただけたらと思います。宣伝ですが、都市災害は毎年同じように成果発表会を開催していて、2月29日に今度は全国町村会館でさせていただきますので、よければご参加いただければと思います。

この二つのプロジェクトは、担当者がかぶっているところがあります。鈴木先生は今回は国難、昨年は都市災害という形でかぶっていますが、人が少ないからというよりは、成果を共有して基盤を強固にするために新しいチャレンジをしているのだとご理解いただければと思います。また来年も同じような顔ぶれで話すかもしれませんが、それぞれが違うアングルで考えてきていると見ていただけたらと思います。

もう一回強調しておけば、最後のターゲットになるのは南海トラフと、それに隣接して起こるような首都圏の災害です。その両にらみでこの二つのプロジェクトは進んでいるということを再確認して、最後の言葉にしたいと思います。また来年も行いますので、ぜひおいでいただければと思います。長時間、ありがとうございました。

